

## 令和4年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 櫻塚

高等学校 課程等

全日制の課程

普通

科(系)

探究課題	・探究オリエンテーション ・理想のロールモデルを追究する	実施学年(年次) 単位数	1
			1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに1学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料（ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料）と外部教材（テキスト・動画）を適宜使用。必要に応じ外部講師の協力を仰ぐ。
評価の観点	<p>【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、探究に必要な題材や資料などを手に入れることができる。手に入れた題材や資料をもとに、社会情勢や社会課題を的確に把握することができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を的確に分析、認知できる。自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいくかを自己の特性と関連付けて考察し、その内容を表明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究活動をPDCAサイクルをとおして深めていくことができる。活動をとおして、探究内容を自らの進路実現に向けた実践に役立てることができる。</p>		
	具体的な学習活動など（箇条書きなどでまとめる）	評価方法・評価のポイント	
4月	・探究オリエンテーション ・テーマを設定して活動（グループでの情報収集・調査活動、外部講師からのアドバイス、クラスでの発表と討議など）	知識・技能：探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現：探究活動に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度：積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
5月	・探究オリエンテーション ・テーマを設定して活動（グループでの情報収集・調査活動、外部講師からのアドバイス、クラスでの発表と討議など）	知識・技能：探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現：探究活動に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度：積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
6月	・全体でのプレゼンテーション大会実施	知識・技能：探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現：発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度：伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている	
7月	・理想のロールモデルを探求するにあたっての心がまえを共有 ・ロールモデルに関するブレーンストーミング	知識・技能：探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現：探究活動に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度：積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
8月	・ロールモデル探し（夏季休暇の課題）	知識・技能：課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現：課題に取り組むうえで必要なリソースを選択し的確に活用することができる 主体的に学習に取り組む態度：未知の領域にも積極的にリサーチの幅を広げていく姿勢を持っている	
9月	・ロールモデルに関わる調査活動	知識・技能：課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現：課題に取り組むうえで必要なリソースを選択し的確に活用、共有することができる 主体的に学習に取り組む態度：未知の領域にも積極的にリサーチの幅を広げていく姿勢を持っている	
10月	・ロールモデルに関わる調査活動 ・発表準備	知識・技能：課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現：課題に取り組むうえで必要なリソースを選択し的確に活用、共有することができる 主体的に学習に取り組む態度：未知の領域にも積極的にリサーチの幅を広げていく姿勢を持っている。積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
11月	・発表（クラス） ・共有とふりかえり	知識・技能：課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現：発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度：伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。	
12月	・発表（学年） ・共有とふりかえり	知識・技能：課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現：発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度：伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。	

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表内容の英訳作業</li> <li>英語での発表活動（クラス）</li> </ul>	<p>知識・技能：英訳作業をスムースに行える。      患者・判断・表現：発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。      主体的に学習に取り組む態度：伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表内容の英訳作業</li> <li>英語での発表活動（学年）</li> </ul>	<p>知識・技能：英訳作業をスムースに行える。      患者・判断・表現：発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。      主体的に学習に取り組む態度：伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自で探究学習のふりかえりを行う</li> <li>次年度の探究活動テーマの予告</li> </ul>	<p>知識・技能：これまでの活動をふりかえり、身につけた知識や技能を整理して定着させる。      患者・判断・表現：次年度の探究活動に向けて必要な活動内容を考察し、計画を立てられる。      主体的に学習に取り組む態度：積極的な態度で活動に参加し、他者とコミュニケーションを図りながら活動することができる</p>

## 令和 4 年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 桜塚

高等学校 課程等

全日制の課程

普通

科(系)

探究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想のロールモデルを追究する</li> <li>・セルフプランディングを追究する</li> </ul>		実施学年(年次)	2
			単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに2学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料（ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料）のほか、外部教材（テキスト・動画）を適宜使用。必要に応じ外部講師の協力を仰ぐ。	
評価の観点	課題設定、調査研究活動（情報収集・整理・分析・編集）、表現力、ふりかえり（メタ認知）の各観点について、計画書、活動レポート、授業観察、研究発表、ふりかえりレポートなどで、あらかじめ作成したループリックに基づいて観点別にパフォーマンス評価を行い、学年末にこれらを総合的に評価する。			
具体的な学習活動など（箇条書きなどでまとめる）		評価方法・評価のポイント		
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の探究活動で発表した理想のロールモデルが、社会に対してどのような影響を及ぼしているかを多角的に考察し、自分の進路目標とのかかわりを考える。</li> <li>・これから社会がどのように変化していくかを予想し、10年後の世界の姿、地域社会の姿に関するグループ研究をすすめ、自分の進路目標とのかかわりを整理する。</li> </ul>		観点別パフォーマンス評価 ・情報収集・調査活動に積極的に取り組めたか ・他者（グループ・クラス・外部講師）との対話をうまくとることができたか	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の探究活動で発表した理想のロールモデルが、社会に対してどのような影響を及ぼしているかを多角的に考察し、自分の進路目標とのかかわりを考える</li> <li>・これから社会がどのように変化していくかを予想し、10年後の世界の姿、地域社会の姿に関するグループ研究をすすめ、自分の進路目標とのかかわりを考える</li> </ul>		観点別パフォーマンス評価 ・情報収集・調査活動に積極的に取り組めたか ・他者（グループ・クラス・外部講師）との対話をうまくとることができたか	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールモデル研究をふまえて、社会とのかかわりという視点から自らの進路目標を具体的に考える。自らの強み、個性、特性、セールスポイント、課題点を整理する。整理した内容を他者に分かりやすくプランディングする。</li> </ul>		総合評価 ・情報整理・患者活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し発表することができたか ・他者の発表を適切に評価し共有することができたか ・次の学びにつながるふりかえりができたか	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールモデル研究をふまえて、社会とのかかわりという視点から自らの進路目標を具体的に考える。自らの強み、個性、特性、セールスポイント、課題点を整理する。整理した内容を他者に分かりやすくプランディングする。</li> </ul>		総合評価 ・情報整理・患者活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し発表することができたか ・他者の発表を適切に評価し共有することができたか ・次の学びにつながるふりかえりができたか	
8月	・プランティングをふまえて、自らの進路実現派の道筋を具体的に考える。(夏季休暇の課題)		観点別パフォーマンス評価 ・課題に充分取り組めたか	
9月	自らの進路目標実現のための行動プランを立案し、そのために必要な事項を整理する。		観点別パフォーマンス評価 ・適切な課題設定ができたか ・情報収集、調査分析活動に積極的に取り組めたか。	
10月	自らの進路目標を、そのための行動プランを立案し、そのために必要な事項を整理する。		観点別パフォーマンス評価 ・適切な課題設定ができたか ・情報収集、調査分析活動に積極的に取り組めたか。	
11月	行動プランの発表準備、発表		総合評価 ・情報整理・発表活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し他者に伝える事ができたか ・他者の発表を適切に評価し共有することができたか ・次の学びにつながるふりかえりができたか	
12月	行動プランの発表準備、発表		総合評価 ・情報整理・英訳作業・発表活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し他者に伝える事ができたか ・他者の発表を適切に評価し共有することができたか ・次の学びにつながるふりかえりができたか	
1月	行動プランの英訳、英語での発表準備、発表		観点別パフォーマンス評価 ・情報収集・調査活動に積極的に取り組めたか ・他者（外部講演者・グループ・クラス）との対話をうまくとることができたか	
2月	行動プランの英訳、英語での発表準備、発表		観点別パフォーマンス評価 ・情報収集・調査活動に積極的に取り組めたか ・他者（他校生・グループ・クラス）との対話をうまくとることができたか	
3月	各自で探究活動のふりかえりを行う。 次年度の探究活動テーマの予告		総合評価 ・次年度の学びにつながる振り返りができたか	

## 令和 4 年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 桜塚 高等学校 課程等 全日制の課程 普通 (系)

探究課題	私たちが生きるこれからの世界に必要なこと	実施学年(年次)	3
		単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに3学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料（ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料）のほか、外部教材（テキスト・動画）を適宜使用。必要に応じ外部講師の協力を仰ぐ。
評価の観点	課題設定、調査研究活動（情報収集・整理・分析・編集）、表現力、ふりかえり（メタ認知）の各観点について、計画書、活動レポート、授業観察、研究発表、ふりかえりレポートなどで、あらかじめ作成したループリックに基づいて観点別にパフォーマンス評価を行い、学年末にこれらを総合的に評価する。		評価方法・評価のポイント
4月	具体的な学習活動など（箇条書きなどでまとめる） ・1年次・2年次の探究活動を踏まえて、自分の進路目標とかかわる探究テーマを各自で設定する。		観点別パフォーマンス評価 ・情報収集・調査活動に積極的に取り組めたか ・適切な課題設定ができたか
5月	・1年次・2年次の探究活動を踏まえて、自分の進路目標とかかわる探究テーマを各自で設定する。		観点別パフォーマンス評価 ・情報収集・調査活動に積極的に取り組めたか ・適切な課題設定ができたか
6月	各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む		観点別パフォーマンス評価 ・課題に充分取り組めたか
7月	各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む		観点別パフォーマンス評価 ・課題に充分取り組めたか
8月	各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む（夏季休暇の課題）		観点別パフォーマンス評価 ・課題に充分取り組めたか
9月	各自で設定した探究テーマに関する探究活動をまとめ、発表準備を行う。		総合評価 ・情報整理・思考活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまくまとめて表現することができたか
10月	各自で設定した探究テーマに関する探究活動をまとめ、発表準備を行う。		総合評価 ・情報整理・思考活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまくまとめて表現することができたか
11月	探究発表		総合評価 ・情報整理・英訳作業・発表活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し他者に伝える事ができたか ・他者の発表を適切に評価し共有することができたか
12月	探究発表		総合評価 ・情報整理・英訳作業・発表活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し他者に伝える事ができたか ・他者の発表を適切に評価し共有することができたか
1月	探究発表		総合評価 ・情報整理・英訳作業・発表活動に積極的に取り組めたか ・自分の考えをうまく表現し他者に伝える事ができたか
2月	各自で探究活動の振り返りを行う		総合評価 ・卒業後の進路と学びにつながる振り返りができるか
3月			